

TAKEUCHI AUTO

NOBUNARI TAKEUCHI

オリジナルの塗料を開発し、さまざまな効果を持つ塗料の販売を行っている TAKEUCHI AUTO。店内には塗料の特殊効果を伝えるため、多くの見本が並ぶ。銀鏡塗装、ファブリックコーティングを実演。

銀鏡塗装



1. 下地塗装をした、ビッグスクーターのメーターバンルへ塗装する



2. 下地塗装が水を弾くため、通常は足付けを行うが、銀鏡塗装の場合は足付けをすると銀が光らなくなる。そのため酸性の薬液を吹き付け、親水性を持たせる。水を弾かなくなるまで、薬液を吹き付け続ける



3. 酸性の薬液は、銀と反応し変色させてしまう。そのようなトラブルを防ぐために、ガンのバターンを閉め、純水を勢いよく吹き付けて薬液を充分に洗い流す。また内側に入り込んだ薬液もシミの原因となるので、しっかり洗い流す



4. 水で充分に洗っても、薬液が膜になって残っているため、エアで飛ばす。その後、再度純水を勢いよく吹き付け、洗い流す



Point 乾燥と洗浄は充分に行う

下地塗料の乾燥が不充分でも、銀と反応を起こし変色の原因となる。銀鏡塗装では下地塗料の乾燥不足や薬液が充分に落ちていないことが、失敗の原因のほとんど。

Point 純水の重要性

銀鏡塗装では水道水の塩素などがあると銀と反応する。塩素や細かいゴミを取り除き、純水を製造する装置を使用し、純水を用意した上で作業を開始する。



5. 銀の水溶液の吹き付け。全体にまんべんなく、塗料で包み込むよう吹き付ける

point 銀鏡塗装用装置

銀鏡塗装には 2 頭ガンと 1 頭ガンが装備された、nanoAg system を使用。1 頭ガンからは純水、2 頭ガンからは銀の水溶液が吹き出るようにセット。



6. 銀の水溶液を吹き付けたら、すぐに純水で洗い流す

Point 水の勢いを弱めて吹き付ける

銀の水溶液の洗い流しは、バターンを開いてソフツに洗い流す。水を勢いよく吹き付けると、銀が不安定になり割れる可能性がある。



7. 銀の吹き付けと水洗いを、銀鏡がきれいになるまで繰り返す



8. エアで水分を飛ばす



9. 乾燥、焼き付け。銀は遠赤外線などを跳ね返すため、温風乾燥。55℃で 30 分、60℃で 30 分の計 1 時間の乾燥



10. 上塗りとしてキャンディーカラーを吹き付け。上に塗った塗料に引っ張られて銀がはがれることを防ぐため、濃いめの塗料を使用し、少ない吹き付け回数で仕上げる



11. 薄く全体に塗膜ができるまで、続けてガンを近づけ、しっかりと吹き付ける。その後、さらに濃度を高めたキャンディーカラーの塗料で、2 回目の上塗りを実施



12. クリヤーを吹き付けた後、65℃で 20 分温風乾燥



finish

ファブリックコーティング



1. 黒でコーティングした木質ボード (MDF) にファブリックコーティングを行う。600 番のペーパーで足付けした後、脱脂



Point ファブリック生地は、すぐに吹き付けられるように準備しておく

ソリッドカラーの塗料を吹いて、流れている状態で生地を植毛するため、ソリッド塗装後すぐに生地を吹き付けられるように、事前に準備しておく。

2. モケットファブリック生地を使用。軽くほぐした後、容器に入れ、ファブリック塗装機に装着



Point 表面をベタベタにする吹き付け

大きな口径のガンを使用し大量の塗料を一気に吹き付け、表面がすぐに乾かないようする。



4. ソリッドカラー塗装後、すぐにファブリック生地を吹き付ける

Point ファブリック塗装機の代用品

ファブリック塗装機がないでも、生地を入れたザルを叩いて網目から落としたり、ドライヤーで生地を吹き飛ばしてコーティングすることもできる。



finish

gallery

